提携を見た事実はあった。殊に浜松の大争議に日本農民組合の各支部が積極的に我々を援助したことは、農民と労働者の提携の必要と可能を実証したものである。

我々は更に之を一層組織的にし、労農級聯合実現の過程として、以上の当面の問題に、並に農民諸君と固く結合し、提携せんことを誓ふものである。

浜松争議に対する決議

浜松争議

浜松に於ける、日本楽器会社の百〇五日に亘る、ストライキは、争議団員の結束の強さと、官憲と資本家とその召使である、暴力団との共同戦線による圧迫、迫害の猛烈さと、小作人による罷工団の応援と、長期間のストライキとに於て、確かに最近に於ける代表的の猛烈な階級闘争であった。我々は冷静に公正に此の争議を直視することが必要である。此の争議の原因は労働者の劣悪な労働条件に対する改善の要求が資本家によって拒絶されたにある。此の故に此の争議は始めは普通の労働力売買の紛争であった。然るに労働者の要求が、甚だ妥当であったに拘はらず資本家は全力を挙げて労働者に対抗し、会社は四十万円の損害、警察は五万円の監時費額を以て之れに当った。之れは一体何を物語るのであろうか？それは労働者の僅少な労働条件の改善に対しても現在の資本家は一歩を譲歩しないことを実証し、官憲は民衆の租税を労働者圧迫に費消

一、